

「道德のまち笠松」

“笠松人のこころ” 風土・人づくりへ

- ・人と人とのつながりをつくる
- ・自ら社会づくりに参加する
- ・自分も他人も尊重する

笠松町の進めている「道德のまち笠松」では、“笠松人のこころ”を意識し大切にする取り組みが、広がっています。こうした取り組みは、笠松の風土・人づくりへとつながります。その積み重ねが町の力を高め、活力ある温かく住みよい町づくりの礎となります。

「パカパカだんご」で町の活力を

去る11月1日“「道德のまち笠松」のつどい”講演会の後、中央公民館前で「パカパカだんご」の試食会が行われました。これは、岐阜女子大学の学生さんが伝統を生かし活力あるまちづくりの役に立てばと、提案された地産品のひとつ。笠松競馬にちなんで、てい鉄形のだんごを串に刺して笠松のしょうゆで焼き上げるといいます。この提案をもとに、NPO法人“元気きそがわ”の皆さんが、笠松で培われてきた技術や感性を生かして挑戦。たれをだんごの中に封じ込め、てい鉄形の焼き印をつけただんごも工夫するなど、新たな地産品づくりに取り組まれています。自分たちの手で町づくりを進めようという、この取り組みには“笠松人のこころ”が強く感じられます。



パカパカだんご試食会
だんごの試作品⇒



笠松のごみ？道路わきのポイ捨て

道路わきに捨てられるポイ捨てごみ。「道德のまち笠松推進会議」で、何とかきれいにしたいとワークショップを開催。まずきれいにし、そのきれいさを維持しようと話し合わせ、9月13日を「ポイ捨てごみゼロの日」として取り組みました。道路をきれいにしたいと願う250人ほどの方々が参加され、「これは、笠松の出たごみではないが、見過ごしてそのままにしては?」、「看板で禁止するよりも拾う姿を示すことが大切では?」などの思いを抱きながら取り組みました。約1時間の取り組みで大量のごみが集められ、円城寺～米野の堤防道路のポイ捨てごみはゼロ。自分たちで、公共地や道路をきれいにしようとするこの取り組みにも、“笠松人のこころ”が強く感じられます。



ポイ捨てごみを拾う姿で示す

いずれの活動も、“笠松人のこころ”にある「人とのかかわり」「自ら取り組む」「相互尊重」を大切にしたい取り組みです。



岐南町長から回遊旗を引き継ぐ笠松町長

上下流をつなぐ回遊旗リレー

第30回全国豊かな海づくり大会

12月2日笠松町役場で、来年6月に県内で開かれる「第30回全国豊かな海づくり大会」を記念して行われている回遊旗リレーの引継式が行われました。

式では、岐南町長から笠松町長に回遊旗が手渡され、役場玄関ホールにて3日間展示されたのち、12月7日羽島市に引き継がれました。